

# 中小企業景況調査報告書

令和3年 4 ~ 6 月期 実績  
 令和3年 7 ~ 9 月期 見通し






鹿児島県商工会連合会

(令和3年7月発行)

この調査は、商工会地域の産業状況等地域の経済動向について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集して、全国商工会連合会と連携し、全国一斉に実施しているものです。

























この報告書の中で、用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値で企業経営者の景気動向を表す指数として利用されています。

## 〈お天気マークの説明〉

 特に好調 +30.0 以上	 好調 +29.9~ +10.0	 まあまあ +9.9~ ▲9.9	 不振 ▲10.0~ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
---	---	---	---	--

- 調査対象期間 令和3年4~6月期を対象とし、調査時点は令和3年6月1日とした。  
令和3年7~9月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 かごしま市・南九州市・薩摩川内市・さつま町・始良市・湧水町・霧島市  
志布志市・大崎町・かのや市・肝付町・西之表市・あまみ・徳之島町
- 回答企業 対象企業 210業  
製造業：43企業 建設業：30企業 小売業：60企業 サービス業：77企業

## 県内産業別業況DI

	製造業	建設業	小売業	サービス業
2年 4月 ~ 6月期	 ▲73.7	 ▲34.5	 ▲69.1	 ▲74.0
2年 7月 ~ 9月期	 ▲62.5	 ▲24.1	 ▲55.4	 ▲62.6
2年 10月 ~ 12月期	 ▲46.4	 ▲25.0	 ▲51.7	 ▲58.0
3年 1月 ~ 3月期	 ▲46.4	 3.5	 ▲44.9	 ▲59.7
3年 4月 ~ 6月期	 ▲20.9	 ▲10.4	 ▲28.3	 ▲37.7
来期見通し(7~9月期)	 ▲10.5	 ▲11.6	 ▲33.9	 ▲25.0

## 総合(業況)

前年同期(令和2年4月~6月期)と比較した今期(令和3年4月~6月期)の業況は、製造業▲20.9(前年同期比52.8ポイント改善)、建設業▲10.4(前年同期比24.1ポイント改善)、小売業▲28.3(前年同期比40.8ポイント改善)、サービス業▲37.7(前年同期比36.3ポイント改善)となった。今期については、新型コロナウイルス感染の第4波が到来し、4市2町の飲食店等において営業時間の時短要請がなされた。前年同期の緊急事態宣言時と比較すると、感染防止対策の影響もあり大幅な改善となった。また前期(令和3年1月~3月期)と比較すると、製造業25.5ポイント・小売業16.6ポイント・サービス業22.0ポイント改善となり、建設業は13.9ポイント悪化となった。

なお、来期(令和3年7月~9月期)の見通し(DI)としては、今期と比較すると、製造業10.4ポイント、サービス業12.7ポイントとやや改善の見通しがあるものの、建設業1.2ポイント小売業5.6ポイントとやや悪化となる見通しである。鹿児島県においても変異株の感染が確認され、まだまだ予断の許さない状況にあり、中小・小規模事業者にとっては、終息するまで正念場が続くと思われる。

# 業種別景気動向

## 【製造業】 有効回答数 43 企業

調査対象企業内訳：食料品(23)，飲料・飼料・たばこ(3)，一般機械器具(3)，家具・装備品(2)，木材・木製品(2)，プラスチック製品(1)，印刷・同関連(3)，金属製品(2) 窯業・土石製品(1)，その他(3)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
2年4月～6月期		▲79.5		▲56.3		▲40.5		▲73.7
2年7月～9月期		▲70.0		▲62.5		▲30.0		▲62.5
2年10月～12月期		▲60.9		▲47.5		▲26.8		▲46.4
3年1月～3月期		▲51.1		▲40.0		▲32.5		▲46.4
<b>3年4月～6月期</b>		<b>▲20.9</b>		<b>▲27.9</b>		<b>▲26.2</b>		<b>▲20.9</b>
来期見通し(7～9月期)		▲14.3		▲28.6		▲12.2		▲10.5

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・半導体不足による業界全体が少しずつではあるが、受注が増加傾向にある。(はん用機械・装置製造業)
- ・量販店での販売単位が上げられず、加工品卸取引先の整理を実施し売上減の決算となった。量販店の販売単価を上げる事が今期の目標。(食酢製造業)
- ・前期に引き続き、需要は改善しており売上は増加傾向にある。材料価格は高止まり。(金属加工機械製造業)

### 経営上の問題点

第1位 需要の停滞	38.2% (前期比 +1.1)
第2位 生産設備の不足・老朽化	17.6% (前期比 +14.7)
第3位 原材料価格の上昇	11.8% (前期比 +3.2)

## 【建設業】 有効回答数 30 企業

調査対象企業内訳：総合工事業(23)，職別工事業(5)，設備工事業(2)

	完成工事額		採算		資金繰り		業況	
2年4月～6月期		▲24.2		▲37.9		▲31.1		▲34.5
2年7月～9月期		▲3.5		▲31.0		3.4		▲24.1
2年10月～12月期		▲18.5		▲25.0		7.4		▲25.0
3年1月～3月期		3.5		3.5		6.9		3.5
<b>3年4月～6月期</b>		<b>10.0</b>		<b>▲3.4</b>		<b>3.4</b>		<b>▲10.4</b>
来期見通し(7～9月期)		▲13.8		▲10.0		▲16.6		▲11.6

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・国の政策により公共工事が増大し、前年度比で完成工事高が25%アップとなった。ただ下請け取引条件の単価上昇や材料費の高騰等により粗利益率は低下したが、経常利益は前年度比で10%アップとなった。(一般土木建築工事業)
- ・材料の価格が上がり、またウッドショックによってさらに価格が上昇しそうである。(木造建築工事業)
- ・梅雨により売上や採算の予想がつかず計画が立てにくい。公共工事は一定程度見込める。(一般土木建築工事業)

### 経営上の問題点

第1位 熟練技術者の確保難	25.0% (前期比 +3.3)
第2位 従業員の確保難	20.0% (前期比 -6.1)
第3位 官間需要の停滞	10.0% (前期比 -7.4)
第3位 材料価格の上昇	10.0% (前期比 +5.7)

## 【小売業】 有効回答数 60 企業

調査対象企業内訳：飲食料品(23)，各種商品(6)，織物・衣服・身の回り品(7)，家具・建具(5)  
その他(19)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
2年4月～6月期	☔	▲75.3	☔	▲71.2	☔	▲54.1	☔	▲69.1
2年7月～9月期	☔	▲66.1	☔	▲49.1	☔	▲39.6	☔	▲55.4
2年10月～12月期	☔	▲57.6	☔	▲44.1	☔	▲31.0	☔	▲51.7
3年1月～3月期	☔	▲57.6	☔	▲48.3	☔	▲41.6	☔	▲44.9
<b>3年4月～6月期</b>	☔	<b>▲25.0</b>	☔	<b>▲25.0</b>	☔	<b>▲21.6</b>	☔	<b>▲28.3</b>
来期見通し(7～9月期)	☔	▲36.7	☔	▲35.0	☔	▲20.0	☔	▲33.9

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・コロナ禍において、消費者がどのような商品を求めているのか思案中。流行にのることは簡単だが、継続していくことができるのかどうか。コンビニ業界もどんどんスイーツに力を入れていることも脅威だ。  
(菓子小売業)
- ・若年層の減少により購買力の低下が考えられる。空気清浄機の注文が若干増加した。(電気器具小売業)
- ・昨年、この時期に特別定額給付金の支給があり対前年比150%の売上が上がった。コロナが長引いて客数が減っている事や追加給付等も無い事から業況が悪化している。  
(衣類・身の回り小売業)

### 経営上の問題点

第1位 需要の停滞	24.1%	(前期比 +4.5)
第2位 購買力の他地域への流出	18.5%	(前期比 -3.1)
第3位 仕入単価の上昇	14.8%	(前期比 +7.0)
第3位 消費者ニーズの変化	14.8%	(前期比 +3.0)

## 【サービス業】 有効回答数 77 企業

調査対象企業内訳：洗濯・理美容業(21)，飲食店(22)，自動車整備業(12)，宿泊業(7)  
運送業(2)，その他(13)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
2年4月～6月期	☔	▲86.0	☔	▲77.9	☔	▲61.9	☔	▲74.0
2年7月～9月期	☔	▲73.1	☔	▲58.4	☔	▲46.1	☔	▲62.6
2年10月～12月期	☔	▲69.3	☔	▲55.1	☔	▲43.6	☔	▲58.0
3年1月～3月期	☔	▲71.9	☔	▲65.5	☔	▲49.9	☔	▲59.7
<b>3年4月～6月期</b>	☔	<b>▲31.6</b>	☔	<b>▲33.8</b>	☔	<b>▲19.8</b>	☔	<b>▲37.7</b>
来期見通し(7～9月期)	☔	▲28.9	☔	▲25.0	☔	▲26.0	☔	▲25.0

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・仕入価格の上昇と同業者の料金設定競争により利益率が下がっている。(生活関連サービス業)
- ・まだまだ強くコロナの影響。タイヤ業においては保障・補助金等がない状況。差別を感じる場面もあり、なかなか厳しい状況となっている。  
(自動車整備業)
- ・新型コロナウイルスの影響からスポーツ合宿等がなくなり大幅な売上減少となっている。団体客の受入が経営を左右する。  
(旅館・ホテル業)

### 経営上の問題点

第1位 需要の停滞	30.4%	(前期比 -8.7)
第2位 利用者ニーズの変化	13.0%	(前期比 -5.8)
第3位 従業員の確保難	8.7%	(前期比 +5.8)

# 全産業【鹿児島県】

2021年4月期～6月期

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比来期見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	209	20.1	38.3	41.6	-21.5	207	12.1	49.8	38.2	-26.1
売上（加工）単価・客単価	178	9.0	66.9	24.2	-15.2	179	6.1	73.2	20.7	-14.5
売上（加工）数量	42	23.8	26.2	50.0	-26.2	42	19.0	47.6	33.3	-14.3
客数	60	6.7	43.3	50.0	-43.3	60	8.3	40.0	51.7	-43.3
利用客数	75	13.3	33.3	53.3	-40.0	77	7.8	53.2	39.0	-31.2
資金繰り	208	5.3	71.2	23.6	-18.3	208	5.8	68.3	26.0	-20.2
輸出額	15	0.0	86.7	13.3	-13.3	15	0.0	80.0	20.0	-20.0
受注（新規契約工事）額	30	26.7	56.7	16.7	10.0	30	13.3	56.7	30.0	-16.7
原材料・商品等仕入れ単価	206	28.2	63.1	8.3	19.9	204	22.5	69.1	7.8	14.7
原材料在庫数量	43	4.7	60.5	34.9	-30.2	42	0.0	71.4	28.6	-28.6
商品仕入数量	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
商品仕入額	60	16.7	50.0	33.3	-16.7	60	13.3	46.7	40.0	-26.7
商品・商品在庫数量	102	4.9	64.7	30.4	-25.5	102	4.9	66.7	28.4	-23.5
採算（経常利益）	210	8.6	57.1	34.3	-25.7	208	6.3	61.1	32.7	-26.4
従業員（含臨時・パート）	185	2.2	86.5	11.4	-9.2	183	3.8	68.3	9.3	-5.5
外部人材（請負・派遣）	109	2.8	85.3	11.9	-9.2	109	3.7	83.5	12.8	-9.2
設備操業率	43	11.6	62.8	25.6	-14.0	42	7.1	71.4	21.4	-14.3
引合い	69	14.5	69.6	15.9	-1.4					0.0
受注・契約残	70	10.0	67.1	22.9	-12.9					0.0
業況（自社）	209	10.0	52.2	37.8	-27.8	199	8.5	59.8	31.7	-23.1

	今期（前期比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	206	18.0	37.9	44.2	-26.2					
売上（加工）単価・客単価	177	6.8	70.6	22.6	-15.8					
売上（加工）数量	42	19.0	47.6	33.3	-14.3					
客数	59	6.8	39.0	54.2	-47.5					
利用客数	76	7.9	38.2	53.9	-46.1					
資金繰り	206	3.4	72.8	23.8	-20.4					
業況（自社）	196	6.6	56.1	37.2	-30.6	191	8.4	67.0	24.6	-16.2
受取手形期間	34	0.0	100.0	0.0	0.0	36	0.0	100.0	0.0	0.0
長期資金借入難度	183	3.3	85.8	10.9	-7.7	178	1.7	87.6	10.7	-9.0
短期資金借入難度（含手形割引）	158	2.5	89.2	8.2	-5.7	155	0.6	91.0	8.4	-7.7
借入金利	181	1.7	94.5	3.9	-2.2	178	2.2	96.1	1.7	0.6

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況（自社）	209	5.7	51.7	42.6	-36.8
生産に対する原材料在庫	42	0.0	90.5	9.5	-9.5
売上に対する製品在庫	103	10.7	83.5	5.8	4.9
採算（経常利益）	208	10.1	63.0	26.9	-16.8
引き合い	71	5.6	67.6	26.8	-21.1
生産設備	42	2.4	85.7	11.9	-9.5
従業員（含臨時・パート）	191	3.7	86.4	9.9	-6.3